

総務常任委員会行政視察報告



民生教育常任委員会行政視察報告



富山県南砺市のSDGs

の取組について

総務常任委員会は、1月21日、22日に行政視察を行った。

南砺市は全国の幅広い住民（あえて市民ではなく、志民）との連帯の中で、地域活性化の輪を広げると共に、従来の人間中心の成長至上主義から自然との共生・循環に立脚した価値観への転換を行い再生可能エネルギーによる地域内エネルギーの自給の技術の育成を目指している。具体的には市有林を活用した木質バイオマスボイラーによる地域経済の循環や廃棄される木くずを利用した発酵バイオマス農業等、独自の取り組みを行っている。

富山県富山市のSDGs

の取組について

富山市はコンパクトなまちづくりを中心に据えてSDGsに取り組んでおり、公共交通の活性化、公共交通沿線地区への居住推進、中心市街地活性化を実現するための3本柱として掲げている。特に特筆すべきは、日産自動車との提携により、電気自動車や燃料電池車を活用した



▲富山市視察



▲南砺市視察

脱炭素戦略や富山市の市役所職員のSDGsに関する知識の教育を徹底し、市民に対する啓発とノウハウの輸出と称して、脱炭素社会の啓発をして、二酸化炭素の削減（日本における二酸化炭素の削減における取引等）に寄与している。

子育て支援・学力向上策を学ぶ

民生教育常任委員会は、1月21日から23日に、行政視察を行った。

○埼玉県所沢市

（いどと福祉の未来館）

地域福祉の中心的拠点施設。一階に地域福祉センター、二階に子ども支援センター、三階に所沢市社会福祉センター等が入っている。

子育て支援エリアでは多数の親子が来所し賑わっていた。子どもと保護者が寄り添う拠点施設として参考になった。

○富山県滑川市（寺家小学校）

〈学力向上施策〉

全国・県レベルに比して、顕著に学力向上があり、教員研修・研究会の成果が見られる。標準学力調査の分析、学力診断ソフトの利用、土曜日授業、科学の時間の新設、理数教育の重視、ICT機器をはじめとする教育備品等の充実、子ども同士が学び合う環境は特出していた。

○富山県黒部市（桜井中学校）

〈学力向上施策〉

市教育センターが中心となり教育研修等を通じ学力向上の取



▲所沢市視察



▲黒部市視察

り組みを行っている。全般説明の後、A L Tによる授業を参観した。グループ授業と日本人講師が2名同室し授業を行った。

ICT教育は、「体験し為して学ぶ」が定着していた。教育センター中心の各種施策の意義は大きい。

他議会からの視察来庁

3月19日

宮城県議会大震災復興調査特別委員会 議員15名

「東日本大震災復興等進捗状況と課題等について」

請願・陳情の受付一覧

（令和元年12月17日～令和2年3月5日）

- ・学校給食の公費負担（無償化や一部負担）と給食の改善を求める要請書
- ・介護保険制度の抜本改善を求める国への意見書提出を求める陳情書